

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室わづき		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 2月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ～ 令和8年 1月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供と保護者のニーズや課題に対して、特性に応じた専門性のある支援を個別対応にて実施していること	・専門職による課題の分析 ・個々の特性に応じ具体的な支援を設定 ・日々の状況に合わせた支援	・専門職（言語聴覚士・理学療法士）と一緒に、課題や成長の評価を行い、スタッフ間のみならず保護者や関係機関と共有して成長する環境作りを行っていく。
2	保護者と子供の健康や発達状況を伝えあい、必要に応じて意見交換や助言などの支援ができていないこと	・担当者から保護者へ、活動の様子などの説明・報告 ・SNSを用い健康状態の連絡、支援や家庭での様子を共有	・今行っている取り組みを継続し、保護者と意見交換をさらに深めていく。 ・保護者にSNSを用いて活動状況を伝え、子供の支援と成長を共通理解していく。 ・必要に応じて保護者との面談など、保護者のニーズをより深く知るための取り組みを行っていく。
3	利用日変更や新規利用などの相談がスムーズであること	・SNSを用いた、保護者からの相談が行いやすい環境整備 ・新規や見学の相談は即日返答できるよう、情報共有を徹底	・さらに充実させるために工夫できる点が無いか協議していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について説明不足であること	・非常時マニュアル等の説明不足 ・個別対応のため、まとまった全体訓練が行うことが困難	・非常時マニュアル等の掲示の周知を行っていく。 ・非常時対応について説明をSNSにて定期的に発信していく。 ・事業所としての避難訓練だけでなく、スタッフ同士でも定期的に非常時の動きをシュミレーションしていく。
2	地域の他の子どもと活動する機会の支援が少ないこと	・個別対応のため、交流の機会を設けることが困難	・事業所の直接支援は難しいが、交流の場（保育所、幼稚園、児童クラブ）や支援を行っている事業所（同時利用の事業所）との情報交換を行い、側面的にコミュニケーション場面に対する支援していく。
3	保護者会など、保護者同士の交流の場を提供できていないこと	・個別対応の為、保護者同士の面識が少ない	・保護者同士の交流の場に対する興味があるか、情報収集を行い、需要に応じた検討を行っていく。